

# 研修

## 1 研修の目的

本校教育目標の具現化のために、児童の実態と課題を明確にし、創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進するとともに、教職員としての資質や能力及び指導力の向上を図り、協働意識を高め、本校の教育上の課題を解決することを目的とする。

## 2 研修内容

### (1) テーマ研究 ～研究主題の解明に基づく協働実践研究～

- ・ 研究授業の実施による課題解明
- ・ 基礎基本の確実な定着を図る指導法の研究
- ・ 講師招聘による実践研究
- ・ 学力向上に向けての研究

### (2) 教職員としての指導力の資質向上

- ・ 児童理解のための諸調査と分析「いじめ等生活実態のアンケート」「学校楽しい～と」
- ・ 「特別支援教育」「人権同和教育」「生徒指導」「道徳教育」「命」「プログラミング教育」
- ・ 「絵画指導」の講師招聘による研修
- ・ 個人研究—テーマの設定と計画の作成・研修成果のまとめ（教育実践記録）
- ・ 自己申告の作成P D C A・まとめ

## 3 テーマ研究

### 【研究テーマ】

主体的に学び、自分の思いや考えを伝えることができる児童の育成  
～複式指導における指導法の工夫・改善を通して～

### (1) 視点1：実態把握をもとにした支援体制の構築

#### ① 校内支援体制

- ・ 個人ファイルによる実態把握
- ・ 個人カルテ(標準学力検査等の結果)
- ・ 個別指導計画作成
- ・ 関係機関との連携
- ・ 特別支援学校の巡回相談
- ・ 行政との連携
- ・ 保護者との連携による実態把握
- ・ 医療機関との連携
- ・ 校内連携
- ・ 民生委員との連携
- ・ 担任連絡会 等
- ・ 中学校との連携

### (2) 視点2：基礎的・基本的事項の確実な定着と活用力の育成(分かる授業づくり)

#### ① 複式学習指導の展開

- ・ 学習過程の工夫
- ・ 「ずらし」「見届け」「同時間接指導」「まとめ」「振り返り」
- ・ 本校のガイド学習の共通理解、実践
- ・ 問題解決的なめあて、課題の設定（「なぜ」を追及させる）、めあてに対応した板書
- ・ 児童の思考が見える板書（ノートとの連動）
- ・ 言語活動の充実（言葉、式、グラフ等を根拠や理由にして）
- ・ チャレンジ15分の時間の確保（ポストテスト等による確認）
- ・ ICT機器の積極的活用（書画カメラ、タブレット、電子黒板、PC等）
- ・ 教材・教具の工夫（ワークシートの活用、振り返りカードの作成等）
- ・ 文や文章を正しく読み取る力の向上

#### ② 個に応じた指導の充実

- ・ 子供の実態を把握する情報の蓄積と分析（各種学力検査結果・家庭学習実態調査等）
- ・ 自学自習力の習慣づくり（複式指導）
- ・ 個に応じた学習課題や習熟問題の工夫

(3) 視点3：学びを支える教育環境づくり

【手だて】

- ① インクルーシブ教育の視点に立った環境整備
  - ・ 教室内の学習作品の掲示の工夫
  - ・ 発表話型の掲示
  - ・ 板書の仕方やノートの書き方の学習ルール統一
- ② 日常的な取組の工夫
  - ・ 各種調査の過去問題やWeb システム問題の継続的な活用
  - ・ 俳句、視写、音読・読書、作文（百字作文）、日記指導、スピーチタイム
  - ・ 新聞・各種コンクールへの積極的な投稿・応募
  - ・ 読書活動の充実（読書カードの作成及び実践、親子読書の実践、出水市家読推薦図書  
の積極的な活用等）
- ③ 人的環境整備
  - ・ ソーシャルスキルトレーニングの研修とその活用
  - ・ ペーパートークの研修とその活用
- ④ 家庭との連携
  - ・ 授業とつながる家庭学習（予習・復習の在り方、自学ノートの効果的活用）
  - ・ 家庭学習強調旬間・ノーメディアデーの実施
  - ・ 生活リズムチェックシートによる実態の把握と分析

※ 太字下線部は出水市学力向上プロジェクトグランドデザインに係る内容